

平成26年度 日置市財務諸表(普通会計)

バランスシート

地方公共団体におけるバランスシートとは、これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産とその資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したものです。ここでいう資産とは、行政サービスを提供するために活用できる財産のことです。

道路や学校など市の施設や市有地の総額 出資金や積立てた基金などの総額 現金・預金、現金化しやすい市税など未収金の総額	資産 1204.6億円 現在、市が保有する資産の総額 【住民の財産】 1. 公共資産 1078.4億円 2. 投資等 72.5億円 3. 流動資産 53.7億円	負債 347.8億円 将来支払わなければならない金額 【将来世代の負担】 1. 固定負債 314.0億円 2. 流動負債 33.8億円	資産形成のための地方債や退職手当などの総額
	純資産 856.8億円 【現世代の負担】 資産形成のためすでに支払った額		道路や学校整備など財源として受けた、国や県からの補助金・市税などの総額

バランスシートの比較(対前年度)

資産	負債	4.6億円減
17.4億円増	純資産	22.0億円増

資産増の要因…基金保有等の増加
負債減の要因…ローン性資産の減少

住民1人あたりのバランスシート(対前年度)

資産	負債	69.5万円
240.8万円	(0.5万円減)	
(4.9万円増)	純資産	171.2万円
	(5.3万円増)	

※平成27年3月31日現在の住民基本台帳
50,035人で算定

行政コスト計算書

行政コスト計算書(民間では損益計算書)とは1年間の行政サービスのコストとその対価を表したものです。行政コストを種類別に区分して、行政サービスを提供するために、人や物等にどれだけコストがかかり、それに対する収入はどれくらいあるのかを把握できます。

①経常行政コスト 202.9億円 行政サービスを提供するためのコスト 1. 人にかかるコスト 37.7億円 2. 物にかかるコスト 65.4億円 3. 移転支出的なコスト 98.3億円 4. その他のコスト 1.5億円	②経常収益 7.7億円 行政サービスの直接対価としての収入 1. 使用料・手数料 4.6億円 2. 分担金・負担金・寄附金 3.1億円
③純経常行政コスト(①-②) 195.2億円 ※純資産変動計算書の純経常行政コストと一致	

※移転支出的なコストとは、扶助費、他団体への補助費、他会計への繰出金などです。

【前年度との比較】

①経常行政コスト 2.6億円増加 ②経常収益 0.1億円減少 ③純経常行政コスト 2.7億円増加

行政サービスにかかる収支	①経常的収支	56.9億円	資金収支計算書(=キャッシュフロー計算書)とは、1年間の自治体における収入と支出を性質別に分類して、支出と財源の関係など資金の流れをみたものです。
道路や学校などの整備にかかる収支	②公共資産整備収支	△20.0億円	
投資・財務活動の資金の収入と支出	③投資・財務的収支	△40.4億円	
当年度の資金増減額		△3.5億円	1年間の資金の変動額
前年度末の資金残高		11.0億円	
今年度末の資金残高		7.5億円	

【前年度との比較】

- ①経常収支 … 5.8億円減少
- ②公共資産整備収支 … 3.2億円減少
- ③投資・財務的収支 … 1.4億円増加
- 収支全体 … 7.6億円減少

・プライマリーバランス △1.4億円
(対前年度 19.4億円減少)

※プライマリーバランスとは、地方債の新たな借入と返済を除いた収支のバランスを表します。

純資産変動
計算書

純資産変動計算書とは、バランスシートの純資産の部が1年間でどう変動したのかをみたものです。

① 前年度の純資産残高	834.8億円	行政サービスにかかった費用
② 純経常行政コスト	△195.2億円	地方交付税や地方税など
③ 経常収入	217.8億円	災害などで臨時にお金が必要だった
④ 臨時損益	△0.4億円	
⑤ 上記以外	△0.2億円	
⑥ 今年度の純資産残高 (バランスシートの純資産合計と一致)	856.8億円	

【前年度との比較】

- ②純経常行政コスト … 2.7億円減少
- ③経常収入 … 5.6億円増加
- ④臨時損益 … △0.5億円減少
- ⑤上記以外 … 0.2億円増加
- ⑥純資産残高 … 22.0億円増加

財務諸表4表からわかること

○流動比率は158.7%となっており、流動資産合計が流動負債合計を上回っています。

※流動比率 … 1年以内に支払う金額への資産の余裕度(流動資産合計/流動負債合計)
健全な運営には100%~150%以上必要とされます。

○資産に占める公共資産の金額が多いことから、建物の修繕・建替などで将来にわたり多額の負担が予想されます。

※端数処理の関係で合計と一致しないものがあります。

平成26年度 日置市財務諸表(連結)

バランスシート

資産 1395.8億円 現在、市が保有する資産の総額 【住民の財産】 1. 公共資産 1241.4億円 2. 投資等 68.0億円 3. 流動資産 86.4億円	負債 424.9億円 資産形成のために使われた金額 【将来世代の負担】 1. 固定負債 383.8億円 2. 流動負債 41.1億円 純資産 970.9億円 【現世代の負担】 資産形成のためすでに支払った額
---	--

行政コスト計算書

①経常行政コスト 404.3億円 行政サービスを提供するためのコスト 1. 人にかかるコスト 42.3億円 2. 物にかかるコスト 83.7億円 3. 移転支出的なコスト 273.6億円 4. その他のコスト 4.7億円	②経常収益 127.2億円 行政サービスの直接対価としての収入 1. 使用料・手数料 5.1億円 2. 分担金・負担金・寄附金 84.0億円 3. 保険料 22.7億円 4. 事業収益 13.7億円 5. その他 1.7億円
③純経常行政コスト(①-②) 277.1億円 ※資産変動計算書の純経常行政コストと一致	

資金収支計算書

①経常的収支	65.1億円
②公共資産整備収支	△22.6億円
③投資・財務的収支	△42.3億円
<hr/>	
当年度の資金増減額	0.2億円
<hr/>	
前年度末の資金残高	80.1億円
今年度末の資金残高	80.6億円

① 前年度の純資産残高	966.3億円
<hr/>	
② 純経常行政コスト	△277.1億円
③ 経常収入	304.1億円
④ 臨時損益	△0.5億円
⑤ 上記以外	△21.9億円
⑥ 今年度の純資産残高	970.9億円
(バランスシートの純資産合計と一致)	

純資産変動計算書